

# 山梨県立都留興譲館高等学校 校歌

作詞 上小澤 仁志  
作曲 小 俣 宏 記  
補作 校歌検討委員会

## 一 桜舞い 歴史をたたえる お城山

桜舞い 歴史をたたえる お城山  
眼下に広がる 谷村の町に  
天保からの 想いを繋いで  
学ぶは 都留興譲館

歌詞の骨格  
一番 この地域の教育の歴史と伝統を引き継ぎ、「興譲」の意味である「思いやりと謙虚な心」をもって、日々励む【過去から現在へ】

私たちの誇り

思いやりのある 謙虚な心で

さあ 励もう

## 二 透き通る 清き流れの 桂川

透き通る 清き流れの 桂川  
流れを遡る 若鮎のように  
チャレンジャーの 闘志あふれて  
挑むは 都留興譲館

二番 新設校としてチャレンジャー精神を大切にするとともに、お互いに切磋琢磨して高めあいながら成長する【現在】

私たちは仲間

ともに鍛えあい 心をひとつに

さあ 臨もう

## 三 山峡に 霊峰富士を 仰ぎ見て

山峡に 霊峰富士を 仰ぎ見て  
真理と理想を 探し求める  
世界に示す 叡智と技術を  
磨くは 都留興譲館

三番 普通科・英語理数科・工業科を持つ総合制高校の生徒として、叡智と技術を磨き、巣立って欲しいという願いを込めて【現在そして未来へ】

私たちの夢を

育みながら 希望の未来へ

さあ 翔び立とう